

このほんしってる？

5・6年生



厚木市マスコットキャラクター
あゆの回

2024

5・6年生

よみもの



『のろいまんじゅう』
桐生 環/作 野間 与太郎/絵
フレーベル館

ときは江戸時代。若旦那と豆
吉（11歳）の菓子屋に妙な
うわさが、「この店のまんじゅうは のろいの
まんじゅうだ」と。うわさは広がり、読売
（新聞）にも書かれてしまった。誤解を解い
て、まんじゅうを売る秘策はあるだろうか。

『ふしぎ草子』

富安 陽子/作 山村 浩二/絵 小学館

みんなが大好きな怖い話、不思議な話、読んで
いて思わずあたりを見回して
「何かいるかも……」と確かめ
たくなってしまう八つのお話し
になっています。こわがりさん
は、決して夜中に一人で読まな
いでください！

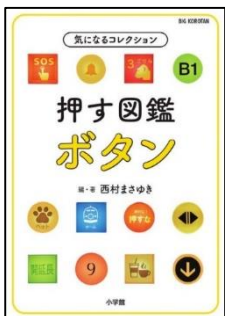


しらべる・あそぶ

『押す図鑑 ボタン 気になるコレクション』

西村 まさゆき/編・著 小学館

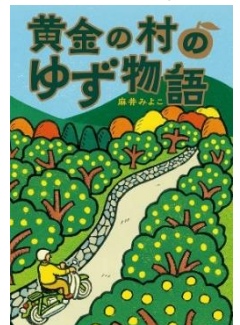
ボタンは、バスをおりるときや、ファミレス
で注文をするときなど、何
かを知らせたり、伝えたり
する役目を持っています。
他にも色々な役割を持った
ボタンがあるはず。どんな
ボタンがあるかな。



『黄金の村のゆず物語』

麻井 みよこ/著 ポプラ社

1960年に農業普及指導技師として徳島県
木頭村に赴任した臼木さんは、
雄大な自然の至る所に見事な
ゆずの大木が立っているのを
気づきます。ゆずを知らない
人が多い時代に村の特産品へ
と奮闘する人たちの物語です。



【そのほかおすすめ・いろいろ！】

本の名前	書いた人	出版社	一言でいうと？
だれもみえない教室で	工藤 純子/著	講談社	♥
起業家フェリックスは12歳	アンドリュー・ノリス/著 千葉 茂樹/訳	あすなろ書房	★
未来の給食、なに食べる？	楠木 誠一郎/作 下平 けいすけ/絵	講談社	◎
宇宙食になったサバ缶	小坂 康之/著 別司 芳子/著 早川 世詩男/装画・挿絵	小学館	♣

- 【一言解説】
- ♥ 「先生の言うことが正しいとは限らない?!」
 - ★ 「子どもだって、会社をやってお金を稼ぐことができる！」
 - ◎ 「食料が足りなくなったときの給食はどうなるの？」
 - ♣ 「高校生が作ったサバ缶が、なぜ宇宙食になったのかな？」

ここで紹介した本は、^{しょうかい}「中央図書館」、^{ちゅうおうとしょかん}「公民館図書室」、^{こうみんかんとしょじつ}移動図書館「わかあゆ号」にあります。ぜひ、^{いどうとしょかん}借りてみてね!!

^{ちゅうおうとしょかん}中央図書館 ^{かい}3階 ^{あんない}こどもの本のフロアのご案内

^{かい}3階の開いている時間

午前9時から午後5時まで

お休みの日

^{しせつほしゅび}施設保守日

^{ねんまつねんし}年末年始

^{せいり}本の整理のとき ほか

